

		チェック項目	はい	どちら ともいえ ない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			利用者の特性や活動内容等を工夫し、スペースを有効に活用している。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			曜日や子供たちの状況に合わせて職員を適切に配置している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			新棟にスロープを設け、段差をなくし車いすで出入りが出来るようにしている。本館に段差はあるが、ケガや事故につながらないよう安全に配慮している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			終礼などで一日の活動の振り返りや特記を報告している。また、職員全員で情報共有できるよう日誌の確認や口頭での確認を徹底し、サービス計画の改善につなげている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			平成29年度中に実施し、結果をもとに業務改善やサービスの質の向上につなげていく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			平成29年度中に自己評価の結果をホームページで公開する。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	外部評価は行っていないが今後、必要に応じ検討していく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			毎月テーマを設け施設内研修を行っている。また、法人研修や外部研修、学会にも積極的に参加している。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			担当者がアセスメントを行い、利用児の課題を計画に反映させている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			標準化されたアセスメントツールを参考に作成したアセスメントシート、インテークシートを使用している。
	11	活動プログラムの立案を全体で行っているか	○			持ち回りで担当を決め、全員で活動プログラムを立案している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			グループの特色や利用児によって活動プログラムを設定し固定化しないように工夫している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			個々の利用者の特性及び保護者の要望を踏まえた上でクラス分けをし、グループごとに課題を設定して支援している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			子どもの特性や様子から個別活動、小集団での活動等を組み合わせ合わせて計画を作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			支援開始前に打合せを行い、支援内容や役割分担、留意点等を確認し実行している。

適切な支援の提供	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		支援終了後に振り返りを行っている。また、保護者からの連絡事項などを担当より全体に伝え情報の共有を図っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		支援記録の書き方について研修を行い、適切な記録をとる事によって日々の支援改善につなげている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		個別支援計画見直し時や6か月ごとのモニタリングの際に見直しの必要性を判断しサービス計画にいかしている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	○		ガイドラインの総則を組み合わせながら計画を作成、支援を行っている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		サービス担当者会議には、担当職員以外に児童発達支援管理責任者なども参加し、情報交換を行っている。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		送迎時に毎回利用児の様子を引継いでいる。緊急時の連絡体制を整えている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○		医療的ケアのニーズがなく、現時点での受け入れはないが定期的に通院しているような場合、適宜保護者から情報を得ている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		就学前から支援している利用児が多数の為、情報共有ができています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供するなどしているか	○		前例がないので今後必要に応じて適宜情報の共有を図る予定である。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		職員間での研修や事例検討会を月に1回行っている。また顧問医によるケースカンファレンスを月に2回程行っている。
	26	地域との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		外出活動時に職員の見守りの中、触れ合える時間を取っている。ボランティアや実習生を受け入れ、交流を持つ機会を提供している。また、法人行事である運動会や夏祭りなどのポスターを掲示し開催を公示している。
	27	(地域自立支援)協議会等行政機関が集まる会議へ積極的に参加しているか	○		参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		日々の送迎時の引継ぎ時に、口頭だけでなく連絡ノート、サービス提供記録にて伝えている。小集団療育の際は引継ぎの時間を30分設けている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対しての具体的な支援方法について情報の提供及び助言等を行っているか	○		保護者との連絡をこまめに行い、情報の共有を図りより具体的に保護者に対して助言を行うことができるよう努めている。
	保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○	
31		保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		必要に応じて個別に面談の時間をとっている。
32		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		現在は保護者のニーズがないため実施していない。個別的な対応は引き続き行っている。

保護者への説明責任等	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情の前例はないが、苦情があった場合には、適切に対応できる体制を整えている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月、利用カレンダーとお知らせを記載したものを保護者に配布している。また、それぞれのグループに学期毎にお便りを発行している。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			保護者に個人情報の使用同意書をいただいている。取り扱いには十分注意している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			意思の疎通が難しい児童や保護者に対しては視線や指差し、具体物や写真を示しながら意思の疎通を図っている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			AED 設置を地域に向け公開している。 また、法人行事である運動会や夏祭りなどのポスターを掲示し開催を公示している。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか、また必要に応じて保護者への説明を行っているか	○			各マニュアルを策定し職員に周知している。保護者には利用開始前の契約時に、マニュアルに基づいて説明を行うと共に要望に応じて閲覧できるようにするなど対応を工夫していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			防災、防犯訓練を定期的に行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			行政機関等の虐待防止の研修を受けた職員が、施設で勉強会を開催し職員全体に周知している。また、虐待に関する職員アンケートを実施している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			やむをえず身体拘束が必要な児童に関しては保護者に十分に説明し同意を得た上で計画に記載している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示に基づき十分な配慮を行っているか	○			保護者から情報を得て十分な配慮を行っている。
	43	やむを得ずケガや事故が起きた際はその都度ヒヤリハット報告書を作成し、職員間での情報共有を行っているか	○			必ず報告書を作成し、事例検討を行うことで再発防止に努めている。